

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
なちゅら		2025年 3月 11日					
	チェック項目	はい			いいえ		
		はい	いいえ	未実施している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20		個室と運動スペースの空間を分けている為、目的に合わせて使用することができる。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	18	2			日によって違うが、支援者数が増えたと余裕を持って支援ができる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境との配慮が適切になされているか。	20		ハンダーを用いて両目視確認が出来る。壁面をイラストで表記している。スクリーン表示やマトリクス表示など視覚を支援している。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	20		清潔に保たれている。物品の収納場所が決まっておきやすい。			休憩がすくれない時に休憩できるスペースがあるとよい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20		個室があるため、個別対応ができる環境が整っている。個室がグループワークする場所としても使用を許可している。			一人で落ち着くスペース(個別部屋)がもう少しあるとよい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	20					
	7 保護者向け評価表より、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20					
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		ミーティングなどで自由に意見を言える時間が確保されている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	8				
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	研修について全体参加できるように工夫されている。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	1	PT,OT,STの専門的目録で作成されている。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	19	1				子供に対して、今後どうなっていきたいかという個別で聞いていきたい。
	13 放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個々の特性を考慮した検討が行われているか。	20		多職種間でも会議を行い、情報共有が行えている。			
	14 放課後等サービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	2				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	1				
	16 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も記述しながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		立案時に全員が個人のことを知る機会が多い。また、相談し合える関係が保たれている。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20					
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	20					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20		業務開始前にミーティングで確認されている。			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	17	3				全員の振り返りはできないが、その日になった子どもさんや保護者からの話は共有できている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20		必ず記録の記入がされている。			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の進捗の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20					
	24 放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	17	3				地域社会と交流の機会の提供は不十分か。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	19	1	集団遊びの際に、子ども同士で遊びを定めるルールを共有してもらうなどの取り組みがされている。			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	20					
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20		機密などにも配慮されている。			
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の把握等)、進路調査(進路の対応、トラブル発生時の連携)を適切に行っているか。	20		学校からスケジュール表をもらうなど、学校行事等でも連携が保たれている(学校側や保護者側)。			
	29 就学前に利用していた保育所との連携、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図られているか。	18	2	全員ではないが希望があれば支援をその都度実施している。			就学前から利用開始した子供さんに関しては、保育所の先生との連携が不十分か。
	30 学校を卒業し、放課後等サービスから児童発達支援センター等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	18	2	必要に応じてつながりノートを活用している。			移行先がなし。事業所の特性上、サービスまでの間が空く。連携し、そのタイミングが空くかという連携が保たれている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	20		認知リハビリテーション専門職と連携を図り、先生から助言を受けている。			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	14				地域との子供との関わる機会ほとんどないが、職員間での利用時の共有はできている。今後そういった機会がもたらえればよい。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	18	2				
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	20		送迎時に情報共有を行っている。			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20					
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20					
	37 放課後等サービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの意思の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	20					
	38 「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	20		適宜、保護者への説明の機会を設けています。			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	20		月に一回、ラインを使用し家族支援の機会が必要な家族には行っている。			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を創出しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を創出しているか。	9	11				
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20					
	42 定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	6	ラインでお知らせしている。			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20					
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		写真や絵などで視覚的表示をしている。			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7	13				今後そういった活動が出来たら。
非常時の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20		避難訓練を実施している。			
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	20					
	48 事前に、就業や予的接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	20					
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	2	おやつ等注意している。			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20					
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく説明等について、家族等へ周知しているか。	20						
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	20						
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20						
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	19	1	現在拘束を行う児童はいない。				